

保護者の皆様に園の日常の保育を理解して頂くため、約30年前から毎年12月～1月にかけて保育参加を実施しています。

クラスに入るのは1日3名迄とし、午前中を子どもたちと一緒に過ごす中で、園での様子を実際にご覧いただいています。そのアンケート結果より

幼児クラスでは・・・

- ・異年齢保育でいろいろな年齢の友達が出来るところが良いと思った。
- ・一人っ子なので家では一人遊びが多いが、自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりして一緒に楽しく遊んでいる姿が見られ安心した。
- ・年長さんが年下の子に優しく声をかけている姿を見て、改めて異年齢保育の良さを感じた。
- ・わらべうたを皆で楽しそうにやっていたのが印象的だった。
- ・家では食べないものも園では食べていたので感激した。

当園で行っている異年齢保育の良さを随所で感じて頂いたり、他にも制作等集中して取り組んでいる、絵本の読み聞かせでは絵本の世界に入りこんでいるようだった、集団で遊ぶ時と自由に遊ぶ時とメリハリがあつてよい等、よい感想をたくさん頂きました。

その反面、

「あの子はいつも～してしまう子だよ。」と言って来る子がいて、日々そういう思いで過ごしているんだなと感じました。というご意見を頂きました。

このことについては、保育士の対応で、子どもの感じ方はかわるので対応の仕方にも十分気をつけなくてはならないと職員間で話し合い再認識を致しました。

また給食の時間が慌ただしかった。皆で「いただきます」をし、「今日のご飯は何が入っているんだろう？」等もっと給食を楽しむ時間にして欲しいと思った。とのご意見もありました。

食事の挨拶に関しては毎年何名かの保護者の方にご意見頂いています。落ち着いた食事を少人数でしたい。丁寧に食事の仕方を見てあげたいので、半数ずつ食事をしている。

1番目の子の食べ終わる時間に個人差があるので、2番目の子はみんな揃ってというわけにはいかない。

そのような中で、こども一人一人に、食べ物や作ってくれた人たちに感謝の気持ちを込めた「いただきます」の挨拶が出来るように指導していく。

保育士自身が気持ちに余裕をもって子どもの食事を見守る。保育士のゆったりとした姿勢が子どもたちのゆったりとした食事につながるようにする等、保育士自身の振る舞い方を見直す良い機会となりました。

乳児クラスでは・・・

- ・連絡帳だけではわからない部分もあったが実際に見て様子がわかった。
- ・家では野菜を見ると無視するのに、ピーマンをパクパク食べていて驚いた。
- ・保育士の子どもへのかかわり方が参考になった。
- ・部屋の中に手作りの様々なおもちゃがあり、既製品のおもちゃより良いなと感じた。等、嬉しいご意見をたくさん頂きました。

しかし、1，2歳児の参観には子どもたちが自分の親に気付いて普段の様子が見られなくなってしまうため、変装をして黙って保育室に座って見て頂いています。

その変装の仕方について

- ・サングラス、マスク、帽子・・・この3つのアイテムは不審者そのものに思えます。園外で「こういう人がいたら近づいてはダメ。大人に知らせる。」と言っているのに子どもには園内外関係なく皆同じ人にしか見えないと思う。改善して欲しい。
- ・子どもが怖がって逆に普段ののびのびとした様子が見られなかった。とのご意見も頂きました。

ビデオにクラス全体のこどもの様子を収めるよりも、実際にご覧頂くのが一番こどもの様子がわかっていただけと思っています。

ただ、1，2歳児の場合、子どもに気付かれないようにするために考えた装いでしたが、このようなことがありましたので、もう少し不審者に見えないような装いにならないか検討をしていきます。

今後も子どもたちの為に、よりよい保育が行えるよう忌憚のないご意見を頂きたいと思えます。

ありがとうございました。